

方針区分	安全・安心	取組方針	人と地域のつながり強化			成果指標（KPI）	中学校避難所を想定した避難計画の策定数（校区）		
所 属	自治推進課	関連部署		予算区分	既存	目標値	2	達成率	
取組・事業名	避難計画策定への意識醸成					実績値			
①事業概要（目的） ※「○○を目的として、△△を実施する」で記載。									
災害に強く、誰ひとり取り残さない安全・安心に暮らすことのできる地域社会の実現を目的として、各校区（地区）自主防災組織間の連携を強化し、中学校を避難所を含めた避難計画の策定につなげる。									
②前年度実績・課題									
・令和7年7月に第1回南区自主防災組織実務者連絡会を南区役所にて開催。									
（実績）各校区（桃山台・晴美台）が行っている防災活動の情報共有等									
・令和8年1月に第2回南区自主防災組織実務者連絡会を榎文化会館にて開催。									
（実績）中学校避難所の運用について、防災課から避難所の運営に関する現状やアクションカードについて説明等									
③主な実施内容 ※回数・対象・数量など、具体的に記載					③-1 期待される効果 ※「○○の向上／促進／改善」				
・自主防災組織の実務者連絡会を開催（年2回）					・中学校を避難所として活用することへの意識向上				
・中学校区内自主防災組織が連携した防災訓練を推進					・中学校避難所を想定した避難計画の策定の推進				
（2中学校区）									
④成果・効果検証 ※KPIにどのように影響するかを意識して記載する									
⑤改善対応・次年度方針									

個別シート

方針区分	安全・安心	取組方針	防災力を高め、安全安心な地域社会の形成			成果指標（KPI）	避難行動要支援者の安否確認訓練の実施回数（校区・地区）		
所 属	自治推進課	関連部署		予算区分	既存	目標値	4	達成率	
取組・事業名	避難行動要支援者対策					実績値			
①事業概要（目的） ※「〇〇を目的として、△△を実施する」で記載。									
災害に強く、誰ひとり取り残さない安全・安心に暮らすことのできる地域社会の実現を目的として、市に登録されている自主防災組織全てが避難行動要支援者の安否確認訓練等を実施する。									
②前年度実績・課題									
・避難行動要支援者やその直接の支援者が自ら安否情報等を発信し、大規模災害発生時に情報難民とならないよう必要な準備や対策を啓発するため、避難行動要支援者に焦点をあてた「つながりあいコール」を作成。（令和8年3月3日付発行）									
・美木多校区防災訓練をモデルに地域共生推進課と連携し避難行動要支援者の避難訓練を実施。									
③主な実施内容 ※回数・対象・数量など、具体的に記載					③-1 期待される効果 ※「〇〇の向上／促進／改善」				
・南区における避難行動要支援者全員（13,236人）に					・避難行動要支援者自身による安否情報の発信を、可能な範囲				
つながりあいコールを送付。（8月）					で促し、支援者からの区対策本部への情報集約に繋げる。				
・各校区（地区）自主防災訓練時につながりあいコールを									
活用した安否確認訓練の勧奨。									
④成果・効果検証 ※KPIにどのように影響するかを意識して記載する									
⑤改善対応・次年度方針									

個別シート

方針区分	安全・安心	取組方針	人と地域のつながり強化			成果指標（KPI）	地区防災計画の策定校区数 （校区・地区）		
所 属	自治推進課	関連部署		予算 区分	既存	目標値	11	達成率	
取組・事業名	地区防災計画作成支援					実績値			
①事業概要（目的） ※「○○を目的として、△△を実施する」で記載。									
災害に強く、誰ひとり取り残さない安全・安心に暮らすことのできる地域社会の実現を目的として、市に登録されている自主防災組織全てが地区防災計画を策定するための支援を行う。									
②前年度実績・課題									
・令和6年度末時点では市に登録されている自主防災組織のうち7校区（地区）が策定済									
（美木多校区、上神谷地区、晴美台校区、高倉台校区、高倉台西校区、竹城台校区、御池台校区）									
・令和7年度は福泉中央校区、桃山台校区が策定済									
・校区間に防災意識や地区防災計画の必要性に対する認識差があり、統一した進捗にならないことが課題である。									
③主な実施内容 ※回数・対象・数量など、具体的に記載					③-1 期待される効果 ※「○○の向上／促進／改善」				
・自主防災組織の実務者連絡会を開催（年2回）					・地域の災害への対応力（自助・共助）の向上				
・未作成校区への進捗確認及び作成支援（通年）					・地区防災計画の作成を通じて、地域防災力及び地域内のつな				
					がりの強化				
					・行政との連携促進				
④成果・効果検証 ※KPIにどのように影響するかを意識して記載する									
⑤改善対応・次年度方針									

令和 7 年度 南区自主防災組織実務者連絡会 実施概要

1 開催目的

防災に関する情報を提供するとともに、自治連合協議会に加盟していない校区を含め、自主防災組織間の連携および情報交換の場を設ける。

これにより、各組織が相互に事例を共有・参考とし、南区全体の防災力のさらなる向上を図る。

2 第 1 回連絡会

(1) 開催概要

- ・ **日時**：令和 7 年 7 月 12 日（土）10 時 00 分～11 時 40 分
- ・ **場所**：梅文化会館 3 階 第 1 講座室
- ・ **参加者**：南区内全 20 校区（地区）の自主防災組織実務者 計 61 人

(2) 内容

1. 避難行動要支援者に関する取組について（地域共生推進課）
2. 校区の好事例発表：桃山台校区、晴美台校区

(3) 概要・主な内容

- ・ 各校区が課題と認識している「避難行動要支援者への対応」について、所管課である地域共生推進課より、堺市の取組および今後の展開について説明を行った。
- ・ 桃山台校区からは、防災活動を契機とした自治会加入促進の取組が紹介され、自治会加入率が**令和 5 年度 28.4%から令和 6 年度 68.5%へ増加**した事例が報告された。
- ・ 晴美台校区からは、**地区防災計画の校区内周知活動**について発表があった。
- ・ これらの取組はいずれも参加者の関心が高く、活発な質疑応答が行われた。

3 第 2 回連絡会

(1) 開催概要

- ・ **日時**：令和 8 年 1 月 24 日（土）10 時 00 分～11 時 30 分
- ・ **場所**：梅文化会館 3 階 第 1 講座室
- ・ **参加者**：南区内全 20 校区（地区）の自主防災組織実務者 計 35 人（竹城台東校区を含む）

(2) 内容

1. 中学校避難所の運用およびアクションカードについて（防災課）
2. グループ別意見交換

(3) 概要・主な内容

- ・ 自治連合協議会定例会等で意見・質問の多かった**中学校避難所の運用**について、防災課より現状およびアクションカード案の説明を行った。
- ・ 意見交換では、**同一中学校区内が同じグループとなるよう編成**し、顔の見える関係性の構築を行った。
- ・ 各グループにおいて、中学校避難所の運用や避難所開設手順のアクションカードの内容について、意見交換を実施するなど、協議の契機を提供した。

4 総括

本連絡会は、避難行動要支援者対応や避難所運営といった重要課題について、行政からの情報提供と地域の実践事例を共有する重要な機会となっている。

また、校区間の横断的な意見交換により、防災・減災に関する各地域における課題の整理および今後の取組の方向性を確認することができた。





震度6弱(以上)の地震が起きたら あなたが『無事かどうか』を伝えましょう



なぜ『無事かどうか』を伝えるの？

あなたが知らせてくれた『無事かどうか』の情報は堺市に伝わります(右のイメージ図参照)

すると物資(水、食糧など)の情報があなたに届きます※

※あなたへ物資の情報が届く方法は
お住まいの地域(校区自主防災会や自治会)の取り組み方法
によって異なります
普段から地域(校区自主防災会や自治会)の方に確認しておきましょう

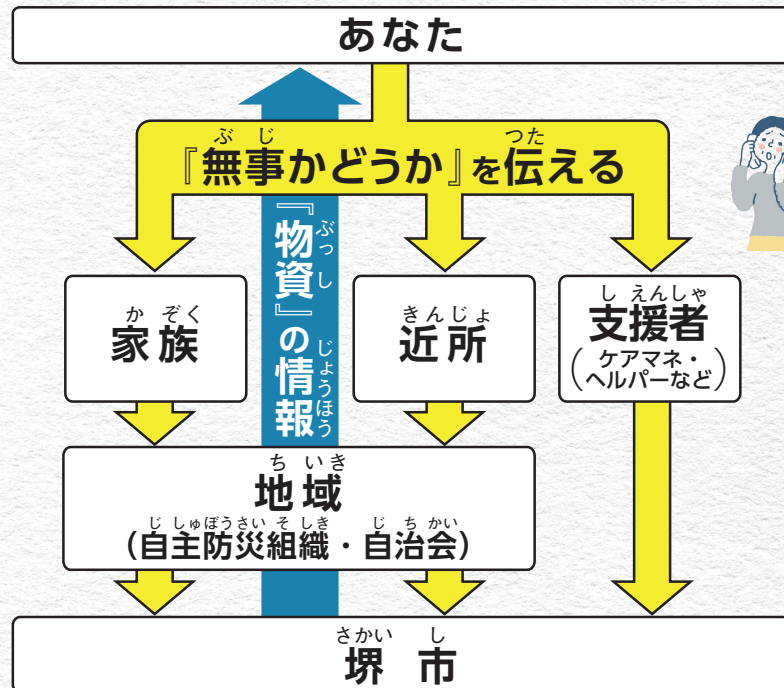
もしも伝えなかったら…

堺市や地域(校区自主防災会や自治会)から物資の情報が届くまでに日数がかかるかも…

だからあなたが無事かどうかを伝えることが、
大地震から生き抜く行動になります

『無事かどうか』『物資』の情報の流れ

イメージ図



※大地震のほかに大雨や台風の接近、土砂崩れの危険に備えて、『避難する場所(自宅・それ以外)』や『助けが必要なのか(薬や医療機器など)』を普段から家族や近所、支援者と前もって相談し、備えておくことが、より早い安全確保につながります

- 1 -



震度6弱(以上)の地震に備えて

気づきやすいところに貼っておきましょう



ふだん
普段

準備すること

(書いておきましょう)

『無事かどうか』の情報を、
☐ だれを通じて堺市に伝えますか？

家族 電話番号

近所 電話番号

支援者 ケアマネ・ヘルパー など 電話番号

☐ 上記の人たちにどうやって伝えますか？

電話以外の方法
SNS・171・直接・伝言板・()

震度6弱(以上)
の地震発生

伝える情報



☐ わたしの状態は？

例えば…
無事・けがをしている・困っている

☐ 避難する場所は？

① 自宅が安全なとき

自宅

自宅での避難(在宅避難)ができるかを確認します

② 自宅が危険なとき

親せき宅・避難所 など

☐ 助けが必要か？

例えば…
薬が足りない・医療機器が使えない など

- 2 -



つながりあいコール

①だれに『無事かどうか』を知らせますか？

つながりのある人

震度6弱以上の地震がきたら、自分が『無事かどうか』**伝える人**を決めておきましょう。
伝える人が**2人以上**いると安心です

だれが
いちばん
近くに
いますか？



家族



近所



支援者
(ケアマネ・ヘルパーなど)



ご家族の方・近所の方へ

ご本人の『無事かどうか』を確認できたときは、その情報を
地域(校区自主防災組織や自治会)にも伝えてください
伝える方法は地域(校区自主防災組織や自治会)に確認して
おきましょう

支援者の方へ

発災後、堺市災害対策本部からご本人の安否確認の依頼が
事業所へ入ります
ご本人の『無事かどうか』を確認できましたら、堺市災害
対策本部へ伝えてください

近所とのつながりが大事

防災訓練に参加する



- 自分のことを知ってもらう
『きっかけ』になる
- 災害が起きたときの対応が分かる

自治会に加入する、あいさつをする

- 近所の人とのつながりをつくる
『きっかけ』になる
- 地域の情報を知ることができる



-3-



つながりあいコール

②どうやって『無事かどうか』を伝えますか？

伝える方法

災害時、電話が**つながらない可能性**もあります
自分が『無事かどうか』を伝える方法は**2つ以上**考えておきましょう

電話以外の
伝える方法
決めていますか？



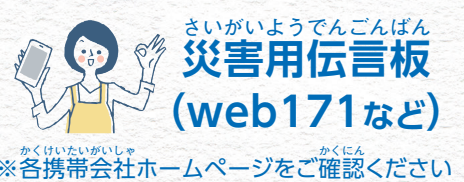
SNS
(LINEなど)



災害用
伝言ダイヤル
171



直接
伝える



災害用伝言板
(web171など)

※各携帯会社ホームページをご確認ください

情報収集をしておきましょう



安心の第一歩



二次元コード

堺市地域共生推進課発行



区別防災マップ
みなみくぼん
南区版



二次元コード

堺市危機管理室発行



避難生活
ガイドブック



二次元コード

南区自治推進課発行

堺市で発行している
資料です

二次元コードや、
みなみくぼん
南区役所の
市政情報コーナーで
ご覧いただけます